



1 次の各文の——線部の動詞の、A活用の種類と、B活用形を（ ）に書こう。

- (例) 昨夜は遅くまで起きていた。 A ( 上一段 ) 活用 B ( 連用 ) 形
- ① 駅伝大会に向けて練習を**始め**よう。 A ( 下一段 ) 活用 B ( 未然 ) 形
  - ② 会場まで来れば、結果が**はつきり**する。 A ( カ行変格 ) 活用 B ( 仮定 ) 形
  - ③ ミスをしないように**注意**しろ。 A ( サ行変格 ) 活用 B ( 命令 ) 形
  - ④ 姉は、よく本を読みながら涙を**流**す。 A ( 五段 ) 活用 B ( 終止 ) 形
  - ⑤ 駅前にいるので、迎えに**来て**ください。 A ( 上一段 ) 活用 B ( 連体 ) 形
  - ⑥ 外に出れば、気分も**晴**れるでしょう。 A ( 下一段 ) 活用 B ( 仮定 ) 形
  - ⑦ 私の弟はなかなか勉強を**し**ない。 A ( サ行変格 ) 活用 B ( 未然 ) 形
  - ⑧ この問題は難しく**解**けない。 A ( 下一段 ) 活用 B ( 未然 ) 形
  - ⑨ 事典で調べれば、わかるはずだ。 A ( 下一段 ) 活用 B ( 仮定 ) 形
  - ⑩ 先生も一緒に**走**られるそうだ。 A ( 五段 ) 活用 B ( 未然 ) 形
  - ⑪ 分厚い本を**閉**じる。 A ( 上一段 ) 活用 B ( 終止 ) 形
  - ⑫ そんなことは初めて**知**った。 A ( 五段 ) 活用 B ( 連用 ) 形

2 次の各文の——線部の形容詞・形容動詞の活用形を（ ）に書こう。

〔形容詞〕

- ① このケーキはそれほど**甘**くない。 ( 連用 ) 形
- ② 失敗が**続**いて我ながら情けない。 ( 終止 ) 形
- ③ その機械は**ずいぶん**と古かろう。 ( 未然 ) 形
- ④ **明**るうちに早く帰りましょう。 ( 連体 ) 形
- ⑤ 調子が**悪**ければ、横になつてください。 ( 仮定 ) 形

〔形容動詞〕

- ⑥ 友達から**大切**な記念品を預かった。 ( 連体 ) 形
- ⑦ 森の奥は、とても**静**かだろう。 ( 未然 ) 形
- ⑧ それほど**重要**ならば、きちんと管理しなさい。 ( 仮定 ) 形
- ⑨ 彼のペンと私のペンは**同**じだった。 ( 連用 ) 形
- ⑩ 生き物に水は**必要**です。 ( 終止 ) 形

3 次の各文の——線部の単語が、形容詞ならア、形容動詞ならイを、それ以外なら△を（ ）に書こう。

- ① 校庭の**大きな**木は我が校のシンボルだ。 ( △ ) ↓連体詞
- ② この**シューズ**は私には少し**大きい**。 ( ア )
- ③ 機械の**調子**がおかしい。 ( ア )
- ④ 彼は**おかしな**話をたくさん知っている。 ( △ ) ↓連体詞
- ⑤ **平和**な世界が実現するように願う。 ( イ )
- ⑥ 世界中の多くの人が**平和**を望んでいる。 ( △ ) ↓名詞